

沖縄島と伊江島にいた小形のモンシロチョウ（シロチョウ科）

Shin KUBOTA : Small form of *Pieris rapae crucivora* (Pieridae) at
Okinawa Island and Ie Island, Okinawa Prefecture, Japan

久保田 信

はじめに

筆者らは以前モンシロチョウ *Pieris rapae crucivora* の日本での矮小・小形個体を少数例報告した（久保田・山本, 2001；久保田, 2011, 2013）。その後、筆者は2016年4月19日午後15時頃、小形のモンシロチョウ2頭が、沖縄県伊江島の米軍補助飛行場と団結道場の間の1地点で、タバコの花が咲いている場所で飛翔しているのを確認した。その内の1頭がその葉にとまったので手で採集し、各体部位をその場で測定した。前翅長25mm、触角長9mm、体長19mm（図1）で、翅の一部は傷んではいたものの、飛翔は活発にできた。同時に見られた他の1頭は、目視では翅は全く傷んでおらず、活発に飛翔でき取り逃がした。

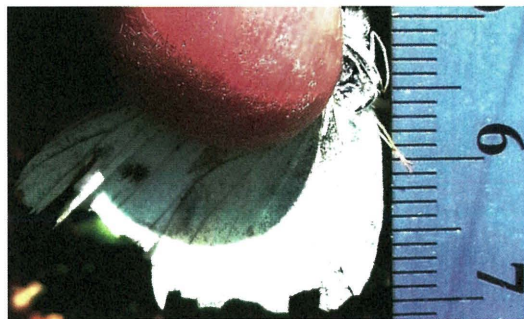


図1 2016年4月19日に沖縄県伊江島にいた小形のモンシロチョウ

その後、上記の場所から伊江港までの島の南西地区のあちこちを、15分間、バスの車窓から目視観察した。その結果、普通サイズの33頭が見られた。

本個体をこれまで報告されている矮小・小形個

体（久保田・山本, 2001；久保田, 2011, 2013）と比較すると、最小個体の前翅長（17.5mm）よりやや大きかった。モンシロチョウは、普通、春から夏にかけて出現し、これまで報告されている矮小・小形個体も北海道から宮崎県の範囲で7月から9月にかけて採集されている（久保田・山本, 2001；久保田, 2011）。しかし、今回の様な沖縄県での4月の複数個体の早い月での小形個体の出現は記録に値する。

次に、沖縄島で2016年4月21－23日の期間中に、那覇より南部の各地域でモンシロチョウの矮小・小形個体を調査した。その結果、全域で観察されたモンシロチョウ68個体中、ただ1個体の矮小・小形個体を玉泉洞で発見した。しかし、その個体も元気なため、採集できなかった。

引用文献

- 久保田 信・山本道也. 2001：和歌山県白浜町で出現したモンシロチョウの矮小型（鱗翅類，シロチョウ科）. 南紀生物, 43 (1), 53-54.
- 久保田 信. 2011：京都御所と京都府立植物園にいた矮小と小型のモンシロチョウ（シロチョウ科）. くろしお, (30), 33-34.
- . 2013：秋に京都府立植物園にいた短小型のモンシロチョウ（シロチョウ科）. くろしお, (32), 32.

〒649-2211 西牟婁郡白浜町 459
京都大学フィールド科学教育研究センター
瀬戸臨海実験所